

# 令和 5年度予算見積調書

課室名：管財課  
 担当名：営繕担当  
 内線：2594

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P23	スマートオフィス推進モデル事業費			一般会計	総務費	総務管理費	財産管理費	県有財産管理営繕事業費	
事業期間	令和3年度～令和7年度	根拠法令	なし			針路	11 稼げる力の向上	SDGsゴール	8
						分野施策	1104 産業人材の確保・育成	SDGsターゲット	8-2, 8-8
<b>1 事業概要</b> ① デジタル化に合わせた環境創り (1) キャビネット縮減 (2) ペーパーレス化 ② 狭隘の改善 (1) 執務室のレイアウトの見直し (2) 机・椅子の省スペース化 ③ 多様な業務内容、デジタル化に対応したスペースの創出 (1) 複数課でのオープン化及び共有スペース創出 (2) 業務内容に応じた多様な執務スペースの創出 ○スマートオフィス推進モデル事業 22,916千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 第二庁舎における執務環境の改善の実施 ① 収納庫量・文書量の削減 ② 什器面積の削減 ③ 通路幅員の拡充 ④ 複数課のオープン化及び相互利用可能な共用スペースの配置 ⑤ 多様な業務内容、デジタル化に対応したスペースの創出 (ABW) 集中・交流・打合せスペース (2) 事業計画 令和3年度 第二庁舎 (5課) の執務室の環境改善 (モデル事業) 令和4年度 第二庁舎 (4課) の執務室の環境改善 (モデル事業) 令和5年度～令和7年度 第二庁舎の執務室の環境改善 (モデル事業) ※事業終期はモデル事業の効果検証を踏まえて見直し等検討するものとする。					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)				(3) 事業効果 ・業務内容に合わせて働く場所や机を主体的に選択できる働きやすい執務環境に改善することで、業務の効率・迅速化、自由闊達な議論、交流による創造性の発現を促進し、創造的な生産活動が図られる。 ・スペースの多様化、収納量の抑制の取組と、関係各課によるペーパーレス化を推進する取組とが連携することで、埼玉県DX推進計画が促進される。					
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし				(4) その他 ・床の補修については、課所によって状態が大きく異なることから、必要に応じて規程予算で対応する。					
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> (1) 人件費 9,500千円×1.0人=9,500千円 (2) 組織の新設 なし (3) 改廃及び増員 なし									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	22,916							22,916	△1,725
前年額	24,641							24,641	

## 事業内訳書

事業名	スマートオフィス推進モデル事業費		
単位事業名	スマートオフィス推進モデル事業	予算額	22,916千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	22,916	△1,725	スマートオフィス推進モデル事業業務委託
合計	22,916	△1,725	